# 2023年度募集　JST NLP R&D 研究提案書

|  |  |
| --- | --- |
| 対象サブテーマ | いずれかをチェックしてください。  サブテーマ1・2 ／ サブテーマ1のみ ／ サブテーマ2のみ  （1. 根拠付きの生成型要約／2. 主題キーワードと本文の対応付け） |
| 研究課題名（20字程度） | *※英語課題名の場合は、日本語の課題名（20字程度）を併記してください* |
| 研究提案者氏名 |  |
| 所属機関・部署・役職 | *※「大学院○〇研究科○○専攻」「特任准教授」等、略さず正しくご記入ください。大学院の表記漏れにご注意ください。学生は研究科等に加え、修士/博士学年をご記入ください。* |
| 研究提案者連絡先 | 住所：  電話番号：  email1： 　　　　　　　　　　email2： |
| 研究歴  (主な研究内容と職歴) | **【注意事項】**  **・様式1～様式6の記入に当たっては「提案書記入要領」を必ずご確認下さい。様式1は１ページ以内厳守です。**  **・本様式に限らず斜字体の注意書きは削除して構いません。**  **・研究費は○○千円単位の記載となりますので、ご注意ください。（○○万円ではありません。）**  **注意：本ボックスは研究提案書から削除してください。** |
| 研究提案者の情報 | URL: |
| 研究費総額 | 研究費総額 (　　　千円) |
| 委託研究費を執行する機関  （JSTとの契約予定先） | （　*研究費を執行する機関名。所属機関が複数ある場合はいずれかを記載のこと*） |
| 経理事務担当者氏名・部署・役職 |  |
| 経理事務担当者連絡先 | 住所：  電話番号：  email1： 　　　　　　　　　　email2： |

# 

# 研究構想

* *評価者が理解しやすいように記述してください。そのため、必要に応じて図表(カラー可)も用いてください。*
* ***様式2は、サブテーマが１つの場合はA4用紙　3ページ程度、サブテーマが2つの場合はA4用紙　6ページ程度****で記述し、****10.5ポイント以上の文字****を使用してください。(これらが遵守されていない場合、研究提案が不受理となることがあります。)*
* *本研究構想中では必要に応じて業績リスト（様式6）の記載内容を適切に引用することにより、提案者自身の業績と研究提案との関係が明確となるようにしてください。引用にあたっては、業績リスト（様式6）にて示した論文・著書番号を用いることもできます。*

## 1．目標達成のアプローチ（現状認識、方策、詳細目標）

* *現状認識、方策、詳細目標に分けて、サブテーマが1つの場合は1,000文字程度、サブテーマが2つの場合は2,000文字程度で記述してください。*

**現状認識：**

**方策：**

**詳細目標：**

## 2．研究計画とその進め方

* *具体的な研究項目と、その進め方(前項で定めた目標の達成に当たって予想される問題点とその解決策等を含む)を主要な研究項目（「研究のスケジュール」に記載の主要な研究項目と合致すること）ごとに記述してください。また、結果に対してどのような評価を行おうとしているか（データ、評価尺度など）についても記載して下さい。*

**3．提案者のこれまでの研究との関連性**

## 4．国内外の類似研究との比較、および研究の独創性・新規性

# 研究のスケジュール

***※******様式3は、A4用紙1ページ以内(厳守)****で記述してください。「研究構想　2.研究計画とその進め方」の主要な研究項目と合致するように記述してください。(遵守されていない場合、研究提案が不受理となることがあります)*

*※下記の例を参考に研究の主なスケジュールを記入してください。*

*※研究項目が複数ある場合は、できるだけ項目別のスケジュールが分かるように記入してください。*

*※矢印の位置、長さ、太さは自由に変更してかまいません。*

*※研究のスケジュールは、目標達成を前提として、研究の進捗に応じ、研究提案者の裁量により柔軟に変更することが可能です。本様式には提案段階の構想を記載して下さい。*

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究項目 | 第2四半期 | | | 第3四半期 | | | 第4四半期 | | |
| **１．** |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ・ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ・ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| **２．** |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ・ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ・ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| **３．** |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ・ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ・ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

# 研究実施体制

*研究実施体制を記述してください。(遵守されていない場合、研究提案が不受理となることがあります)*

*研究代表者以外は、所属機関、部署、役職区分毎に人数を記入してください。*

## 1．研究代表者

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 研究代表者氏名 | 所属機関、部署 | 役職 | エフォート率 |
|  |  |  |  |

## 2．研究代表者以外の研究参加者

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 所属機関、部署 | 役職区分 | 人数 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

*※具体的な研究者の氏名の記載は不要です。*

## 3．連携研究者（研究費を使用しない研究者や協力者等）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 所属機関、部署 | 役職区分 | 人数 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

*※具体的な研究者の氏名の記載は不要です。*

# 研究費計画

## 費目別の研究費計画

**（単位：千円）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | | **2023年度** |
| **物品費** | **設備備品費** |  |
| **消耗品費** |  |
| **旅費** | |  |
| **人件費・謝金** | |  |
| **その他** | |  |
| **直接経費　計** | |  |
| **間接経費** | |  |
| **合計** | |  |

*※想定されるおよその額をお書きください。*

*※委託研究費は、本研究費（直接経費）にその30%にあたる間接経費を別途加えた金額となります。*

# 業績リスト・過去の研究代表実績

**【研究提案者の英語論文等での著者表記：　　　　　　　】**

## 1．主要な論文・プロシーディングス・著書等　*※5件以内、本提案に関連するものは先頭に〇をつけてください。○をつけたものについて本提案との関連性を記載してください。*

## 2．主要な学会発表　*※5件以内、招待講演には先頭に〇をつけてください。○をつけたものについて本提案との関連性を記載してください。*

## チェックリスト

**○ 締切に十分余裕を持ってご確認ください。本チェックリストは提案書の一部としてご提出いただきます。**

**1. 研究倫理教育に関するプログラムについて**

（１）か（２）いずれか一方を選んで記入してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 確認項目 | | 記入欄 | 参照箇所 |
| （１）所属機関におけるプログラムを修了している場合 | | | 公募要領 4.1 |
|  | 研究倫理教育に関するプログラムを修了した | はい |
| 実施機関名 | （記入してください） |
| プログラム名（倫理教育や講義等の名称など） | （記入してください） |
| 受講年度 | （記入してください） |
| （２）所属機関におけるプログラムを修了していない場合  （所属機関においてプログラムが実施されていない場合を含む） | | |
|  | eAPRINのプログラムを修了した | はい |
| 受講確認書番号 | （記入してください） |

**2. 応募者の要件について**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 確認項目 | | 記入欄 | 参照箇所 |
| **・** | 「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン(平成26年8月26日文部科学大臣決定)」の内容を理解し、遵守すること。 | 誓約する | 公募要領 2.5(1)d |
| **・** | 「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）（令和3年2月1日改正）」の内容を理解し、遵守すること。 | 誓約する |
| **・** | 研究提案が採択された場合、研究参加者（研究代表者、研究に従事する研究員、技術員、研究補助員、学生等）は、研究活動の不正行為(捏造、改ざん及び盗用)並びに研究費の不正使用を行わないこと。 | 誓約する |
| **・** | 本研究提案書に記載している過去の研究成果において、研究活動の不正行為は行われていないこと。 | 誓約する |

**3. 研究代表者の責務等について**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 確認項目 | | 記入欄 | 参照箇所 |
| (1) | JSTの研究費が国民の貴重な税金で賄われていることを十分に認識し、公正かつ効率的に執行すること。 | 誓約する | 公募要領 3.5 |
| (2) | 提案した研究課題が採択された後、次に掲げる事項を遵守すること。 a. 募集要項等の要件及び所属機関の規則を遵守する。 b. 機構の研究費は国民の税金で賄われていることを理解の上、研究開発活動における不正行為（捏造、改ざん及び盗用）、研究費の不正な使用などを行わない。 c. 参画する研究員等に対して研究開発活動における不正行為及び研究費の不正な使用を未然に防止するために機構が指定する（研究倫理教材 eAPRIN（旧名称 CITI））の受講について周知徹底する。 | 誓約する |
| (3) | 研究の推進及び管理等 a. 研究代表者は、研究計画の立案とその実施に関することをはじめ、研究チーム全体に責任を負うこと。 b. JSTに対する所要の研究計画書や研究報告書等の提出や、研究評価への対応を行うこと。また、JSTが必要に応じて随時求める研究進捗状況に関する報告等にも対応すること。 | 誓約する |
| (4) | 研究代表者は、研究チーム全体の研究費の管理(支出計画とその進捗等)を研究機関とともに適切に行うこと。 | 誓約する |
| (5) | 研究代表者は、研究参加者や、特に研究費で雇用する研究員等の研究環境や勤務環境・条件に配慮すること。 | 誓約する |
| (6) | 研究成果の取り扱い a. 国費による研究であることから、知的財産権の取得に配慮しつつ、国内外での研究成果の発表を積極的に行うこと。公表にあたっては事前にJSTの承諾を得ること。 b. 研究実施に伴い得られた研究成果を論文等で発表する場合は、本事業の成果である旨の記述を行うこと。 | 誓約する |
| (7) | JSTと研究機関との間の研究契約及びJSTの諸規定に従うこと。 | 誓約する |
| (8) | 本事業に係るJSTによる経理の調査、国の会計検査等に対応すること。 | 誓約する |

**4. 不合理な重複・過度の集中に対する措置について**

いずれか一方を選んでください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 確認項目 | | 記入欄 | 参照箇所 |
|  | 応募時点において、不合理な重複の該当や恐れはないこと。 | はい 　  恐れがあるので相談したい | 公募要領 4.2 |